

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2020年9月22日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 連邦行政裁判所、議論のあるフェーマルン海峡トンネル計画を再審議

Bundesgericht überprüft Planungen für umstrittenen Fehmarnbelttunnel

ドイツ連邦行政裁判所で、フェーマルン海峡トンネル訴訟の公判が本日始まった。環境保護団体らは、工事は環境に重大な影響を及ぼすものと考えており、また建設計画中であるトンネルを通る鉄道と道路に、どれほどの交通需要があるのかについても疑問を呈している。

この海峡トンネル（延長 18 km）は、ドイツ・フェーマルン島プットガルデンと、デンマーク・ロラン島レズビーを結ぶ予定である。ドイツとデンマークは建設計画の条約に署名しており、デンマークが費用を負担してトンネルの計画、建設、運営を行う。なお、デンマークでは 2015 年にすでに建設に向けた法案を整備している。

アメリカ 2020年9月24日 Cities Today

■ ロサンゼルス市、世界経済フォーラムとアーバンエアモビリティ（UAM）普及へのロードマップ作成で協働

LA and World Economic Forum partner on urban air roadmap

『都市上空の諸原則』と題されたロードマップには、持続可能性、安全性、アクセスの公平性、騒音が低いこと、多様な交通手段への接続、地元の労働力開発、特定の目的に動機付けられたデータ共有という 7 つの基本理念が掲げられている。

アーバンエアモビリティ (UAM) のうち、特に電動垂直離着陸機 (eVTOL) のコンセプトは、新たな環境に優しい柔軟性のある交通として、潜在的な可能性を示す幾つかの試行が行われ、この数年間で著しく発展している。

イギリス (アメリカ) 2020年9月24日 Traffic Technology Today

■ サンフランシスコ、混雑課金の導入検討にオンラインゲームを活用

San Francisco investigates congestion pricing with new online game

地域社会の需要に確実に応える混雑課金の計画を作るため、サンフランシスコ郡交通局は、地域への働き掛けの最新の取組みとして、オンラインゲーム『Unclog Fog City (街の霧を取り払おう)』を作成した。これは住民自身に混雑課金計画を設計してもらい、意見をデータとして集めるものである。ギフトカード100ドル分が10人に1人に贈られる。

イギリス (アメリカ) 2020年9月30日 ITS International

■ ロサンゼルス、4000億ドル規模の今後30年間の交通計画を承認

LA approves \$400bn 30-year transport plan

カリフォルニア州知事は、2035年までにガソリン車の販売を禁止する行政命令に9月署名した。

ロサンゼルス郡都市圏交通局 (Metro) は、これとは別に計画書で、交通の改善、渋滞の緩和、完全な道路を目指すこと、あらゆる機会へのアクセスという4つの主要分野で野心的な目標を設定している。

フランス 2020年10月1日 LeFigaro

■ ヴァンシ、ケニアの高速道路に関する13億ユーロの契約に署名

VINCI signe un contrat d' 1,3 milliard pour une autoroute au Kenya

ヴァンシは、系列会社の Rift Valley Highway が、ケニア共和国ケニア高速道路公社 (KeNHA) らを通じて、ナイロビ～ナクル～マウサミット高速道路のプロジェクト開発を対象とする契約に同国との間で署名したことを発表した。総額約13億ユーロに上る同プロジェクトは、既存幹線道路上の175kmにわたる区間を4車線の高速道路に変えるものである。

官民協働の枠組内 (ヴァンシはアフリカでPPP契約を初めて獲得) において、アベイラビリティ・ペイメント方式で、Rift Valley Highway が設計、資金調達、拡張改修工事および、新たな高速道路の開発・保守を請け負うもので、契約期間は30年間となる。

ドイツ 2020年10月2日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ 研究：道路交通における攻撃行動が増加傾向に

Studie : Aggressivität im Verkehr steigt leicht

近年、運転者の攻撃性は低下するどころか、少し上昇している。こうした結果が、保険業団体の事故研究者による報告書『交通環境2020』で示された。

運転中の行動を約2,000人に尋ねたところ、前回の調査よりも良い結果を示す項目はなく、いくつかの項目でわずかに悪化した。後方からあおる車両に対して急ブレーキで応酬したり (42%)、怒りを感じるとそれをすぐに行動で示したり (45%) すると答えた人の数が増加していた。

フランス 2020年10月5日 Le Figaro オンライン版

■ ヴァンシ、オーストラリアで契約を2件獲得

VINCI Construction remporte deux contrats en Australie

ヴァンシは、オーストラリアの子会社である Seymour Whyte が総額3億3000万豪ドル（約2億ユーロ）の高速道路改修契約を獲得したと発表した。1件目は、2億7000万豪ドル（1億6500万ユーロ）の契約で、パシフィック・モーターウェイ（M1）のパーシティレイクス～タガン間（クイーンズランドとニューサウスウェールズの州境付近）の改修の第3ロットに関連するものである。2件目は、6000万豪ドル（3700万ユーロ）の契約で、ニューサウスウェールズ交通（政府によるニューサウスウェールズの交通機関）が Seymour Whyte に建設を（94%）、SMEC に設計（6%）を契約締結するものである。

スペイン 2020年10月6日 Abertis

■ アベルティスと IBM、革新的で安全かつ環境に優しい高速道路の開発で協力

Abertis colabora con IBM para desarrollar autopistas más innovadoras, seguras y ecológicas

両社は、3年間の契約で、交通の影響を減らし持続可能性に貢献するような革新的ソリューションを、AI、IoT、クラウドなどの技術を活用し革新的な解決手法を共同開発し、アベルティスグループが世界中で運営する高速道路の利用者により良いサービスを提供する。

なおアベルティスは、スペイン、フランス、イタリア、チリ、プエルトリコ、ブラジル、アルゼンチン、インド、メキシコの専門家で構成された、横断的かつ多国籍の専任チームを擁する。

トルコ（ベトナム） 2020年10月6日 Anadolu Agency

■ ベトナム政府、国が出資する高速道路の有料化を検討

Vietnam mulls toll charges on state-funded expressways

ベトナムの道路交通法では、運転者は国が出資する高速道路で通行料を払う必要はなく、自動車登録センターで道路保全料を支払うだけでよいとされている。しかし、質の高い高速道路を整備するためには、さらなる資金が必要である。既に国が出資する高速道路の一部が有料化されているが、保全工事費用を賄うには十分ではなく、道路の質が低下している。

スペイン 2020年10月7日 Cinco Días オンライン版

■ Bip & Drive 社、電子料金収受システムを自動車修理工場や保険会社に提供

Bip&Drive llevará su medio de pago del telepeaje a talleres y aseguradoras

第1の目的は、バレンシア、カタルーニャ、アンダルシアなどの導入が進んだ地域の既存ユーザーを維持することだが、他方スペイン全土での新しいユーザーの開拓も目的としている。当社は、アベルティス、シントラ、イティネレおよび、カイシャバンクより出資を受けており、料金収受機器（VIA-T）とスマホ用アプリを決済代行システムとして利用してもらえよう、自動車修理工場や保険会社、給油所との契約を進めている。

アメリカ（スウェーデン） 2020年10月8日 The Verge

■ ドローン・トラックのスタートアップ企業 Einride が新型の自動貨物輸送用車両を発表

Drone truck startup Einride unveils new driverless vehicles for autonomous freight hauling

このトラックにはハンドル、ペダル、フロントガラスがなく、運転室也没有。

NVIDIA 社の自動運転ソフトウェアを採用し、レベル4の運転に対応しており、自社開発の遠隔操作技術により数百マイル離れた場所からの制御も可能だという。「輸送コストを最大60%、CO₂排出量を90%削減できる」という。

フランス 2020年10月9日 Le Figaro オンライン版

■ 相乗り用車線：グルノーブル付近に乗員数計測レーダーを設置

Covoiturage : un radar qui compte le nombre de passagers installé près de Grenoble

フランスの高速道路では初となる相乗り用車線が、高速道路A48号線上のリヨン方向からのグルノーブル入口に9月開設された。8kmにわたる相乗り車線には新しいレーダーが設置されているが、今回はスピード制御のためではなく、車両の乗員数を計測するためのレーダーであるとAPRRグループは説明する。

Pryntec社が開発した乗員計測用レーダーには、相乗り用車線を走る車両の前方座席および後部座席の乗員数を計測するセンサーが搭載されている。運転手しか乗っていないことが確認された場合、高速道路の掲示板に注意情報が表示され、運転手は他の車線に戻るよう促される。

A48への配置に先立って、同ツールは2018年からマコンにあるA6高速道路上でのテスト段階を経て設置されている。このシステムは、悪天候時でも、道路が空いている時でも混雑している時でも、車両のタイプにも関係なく同様に機能する。たとえばプラスチック製のマネキンなどの「ダミーの乗員」も探知することができる。

イタリア 2020年10月13日 Repubblica オンライン版

■ ブレーキアシストによって追突が45%減少し、交通安全面の効果が確認される

Sicurezza, con la frenata assistita ridotti i tamponamenti del 45%

イタリア自動車クラブ(ACI)は、ブレーキアシストシステムの導入効果を示すデータを発表し、発売後3年未満の車両による追突事故の減少率は45%と推定され、明らかに効果があるとした。

そしてACIとポッシュは、ACIのフィリッポ・カラッチョロ財団がトリノ工科大学と共同で行った新しい研究を発表した。多くの先進運転支援システムを装備したモデルでは100万kmごとに5.7回の事故に遭遇する可能性があるが、他方、先進技術を搭載していない車両は100万kmごとに最大15回という、約3倍のリスクにさらされたことが、この研究成果で強調されている。

ドイツ(オランダ) 2020年10月14日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ ゼロエミッション・ゾーン：オランダ政府、運送業界に支援

Emissionsfreie Zonen : Niederlande hilft Transportgewerbe

オランダ政府は、市町村が実施するゼロエミッション・ゾーン設置に対応するために車両を改造しなければならなくなった道路運送会社に対して、財政支援を発表した。これらの企業は、2021～2025年の間に、ゼロエミッション車の購入資金として申請すると、税控除と補助金を受けることができる。

オランダの市町村は、2025年以降、地域内にゼロエミッションの区域を指定することが許可される。排気エンジンを搭載した車両は区域内を走行できない。報道によると、既に30以上の市町村が同区域を設置する意向を示している。